

[PRESS RELEASE]



—糖尿病学の進化と絆—

2013年5月16日

一般社団法人 日本糖尿病学会
理事長 門脇 孝

第56回日本糖尿病学会年次学術集会
会長 荒木栄一

熊本宣言2013

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your A1c below 7%

2013年5月16日(木)、17日(金)、18日(土)の3日間、「糖尿病学の進化と絆」をメインテーマとして、第56回日本糖尿病学会年次学術集会(会長 荒木栄一: 熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科)が熊本で開催されます。

糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに細小血管合併症を引き起こします。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。糖尿病合併症で苦しむ患者さんの数は今なお減少していません。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。日本糖尿病学会は、合併症予防のために、多くの糖尿病患者さんにおける血糖管理目標値をHbA1c 7%未満とし、より良い血糖管理などを通じて糖尿病の合併症で悩む人々を減らすための努力を惜しまないことを、「熊本宣言2013」に込めて、本学術集会で宣言いたします。

この宣言のもと、我々は糖尿病発症予防に尽力するとともに、最適な糖尿病治療を提供することによって、糖尿病および糖尿病合併症の予防と治療に新しい希望をもたらすべく、挑戦を続けます。

(背景)

「平成19年国民健康・栄養調査」の結果では、「糖尿病が強く疑われる人」は約890万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約1,320万人で、両者の合計は約2,210万人にのぼっていました。この両者の合計は、「平成9年糖尿病実態調査」では約1,370万人であり、この10年の間に約800万人増加したことになります。日本人における生活習慣の変化、すなわち食生活の変容や運動不足、そしてその結果引き起こされる内臓脂肪の蓄積や肥満が糖尿病患者数増加の重要な原因であると考えられています。

この状況を鑑みて、平成20年、日本糖尿病学会では糖尿病は予防や治療をすることができること、またその根幹が、健康的な食生活(Diet)と適度な運動(More Exercise)であることを「東京宣言2008」として宣言いたしました。このように日本糖尿病学会は、糖尿病の予防と治療の向上に取り組んでいます。

糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに細小血管合併症を引き起こします。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。糖尿病による合併症の発症を予防し、また進行を阻止すること、さらには糖尿病患者さんにおいても、健康な人と変わらない日常生活の質(QOL)が維持され、また健康な人と変わらない寿命が確保されることが糖尿病の治療の目的です。しかし、糖尿病網膜症による失明者は年間3,000人以上(新規失明者の約18%)、糖尿病腎症による新規透析導入者は年間16,000人以上(新規透析導入の約44%)、糖尿病足病変による下肢切断者が年間3,000人以上(全切断患者の40~45%)であると報告されており、糖尿病合併症で苦しむ患者さんの数は今なお減少していません。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。そのための血糖管理目標値は、年齢、糖尿病であった期間、現在の健康状態、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、患者さんごとに設定する必要があります。昭和62年から平成10年にかけて熊本県で行われた日本人の2型糖尿病患者さんを対象とした熊本スタディにおいて、過去1~2ヶ月の血糖の平均値を反映する臨床検査値であるHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)が6.9%未満であれば細小血管合併症の出現する可能性が少ないことが報告されています。また諸外国においては、より大規模な臨床研究が行われ、その結果に基づいて合併症予防のための管理目標値として、HbA1c 7%未満を推奨しています。

ここに日本糖尿病学会は、合併症予防のために、多くの糖尿病患者さんにおける血糖管理目標値をHbA1c 7%未満とし、より良い血糖管理などを通じて糖尿病の合併症で悩む人々を減らすための努力を惜しまないことを宣言いたします。

あなたとあなたの大切な人のために。

STOP the DM -Diet & More Exercise -

そして、

Keep your A1c below 7%

これらを合言葉に、我々は糖尿病発症予防に尽力するとともに、最適な糖尿病治療を提供することによって、糖尿病および糖尿病合併症の予防と治療に新しい希望をもたらすべく、挑戦を続けます。

熊本宣言2013

日本糖尿病学会は、糖尿病の予防と治療の向上に取り組んでいます。
糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに合併症を引き起こします。
また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。
糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。
血糖の平均値を反映するHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)を7%未満に保ちましょう。

あなたとあなたの大切な人のために
Keep your A1c below 7%

2013年5月16日 熊本にて
第56回日本糖尿病学会年次学術集会
会長 荒木栄一

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your
A1c below 7%

<7%

熊本宣言2013



第56回
日本糖尿病学会
年次学術集会

熊本宣言 2013

©2010熊本県くまモン#8897

参考資料

下記の図は、糖尿病治療ガイド2012-2013において掲載される「血糖コントロール目標」の改訂図です。2013年6月1日より、運用開始の予定です。

血糖コントロール目標

| コントロール目標値 ^{注4)} | | | |
|--------------------------|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 目標 | 血糖正常化を目指す際の目標 ^{注1)} | 合併症予防のための目標 ^{注2)} | 治療強化が困難な際の目標 ^{注3)} |
| HbA1c (%) | 6.0未満 | 7.0未満 | 8.0未満 |

治療目標は年齢，罹病期間，臓器障害，低血糖の危険性，サポート体制などを考慮して個別に設定する。

- 注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合，または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。
- 注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては，空腹時血糖値130mg/dL未満，食後2時間血糖値180 mg/dL未満をおおよその目安とする。
- 注3) 低血糖などの副作用，その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。
- 注4) いずれも成人に対するの目標値であり，また妊娠例は除くものとする。

《本件に関するお問い合わせ先》

第56回日本糖尿病学会年次学術集会 事務局（担当：西川）
TEL:096-373-5169 FAX:096-366-8397

《取材に関するお問い合わせ先》

第56回日本糖尿病学会年次学術集会 準備室（担当：近藤）
TEL:092-712-6201 FAX:092-712-6262

E-mail: jds56@convention.co.jp

ホームページ: <http://www2.convention.co.jp/jds56/>

〈学術集会期間中〉

学術集会運営本部(2013年5月16日～18日)

ホテル日航熊本

TEL:096-211-1497(本部直通)
